

水道事業経営基盤強化支援事業について

長野県環境部水大気環境課

1 目的

水道事業の基盤強化に有効な方策である広域連携を推進するため、「水道広域化推進プラン」を策定し、将来にわたり安心安全な水道水の安定供給を図る。

2 事業内容

(1) 現状分析・将来推計、課題抽出（令和2年度）

現行の水道料金水準を一定とした場合に、50年後には収益的収入は県全域で4割減少し、施設投資額については、現行の施設を維持していくために必要な将来の更新費用を平準化した場合に県全域で1.7倍になる見込み

多くの水道事業者において水道料金を大きく値上げしない限り、損益赤字と資金不足が発生し、経営環境が悪化する見通し

(2) シミュレーション（令和3年度）

①広域連携の枠組み（連携範囲）

広域行政圏による9圏域（上田・長野圏域を1圏域）に全県を加えた10圏域を基本とし、必要に応じ圏域を跨ぐ場合も検討

②広域連携の類型（連携形態）とシミュレーション

形態	内容
ア 事務の広域的処理	<ul style="list-style-type: none"> ○管理の一体化（各種業務の共同実施） 職務内容や圏域内の委託状況を踏まえ、人件費や委託費の削減効果を算定 ○薬品等の共同購入 スケールメリットによる薬品単価の削減効果を算定 ○システムの共有化 圏域全体でシステムを保有した場合の構築費及び保守費の削減効果を算定
イ 施設の共同化	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の共同設置・共同利用 水道施設の中核をなす浄水場を起点に周辺施設の統廃合等を検討し、共同利用・共同設置による施設更新費用や維持管理費用の削減効果を算定
ウ 経営統合	<ul style="list-style-type: none"> ○事業統合 上記ア及びイの効果に加え、事業統合による効果（財務や人事関連システムの共有化等）合算して削減効果を算定

(3) 水道広域化推進プラン策定（令和4年度）

シミュレーション結果に基づき、各圏域において取り組む広域連携策を水道事業者と協議し、「水道広域化推進プラン」を策定

3 今後のスケジュール（予定）

令和3年～12月 広域連携シミュレーション

令和4年1～3月 水道事業者に対するシミュレーション結果説明会（圏域ごとに開催予定）

令和4年4月以降 プラン策定に向けて各圏域における広域連携の方向性を水道事業者と協議